

第 2 回馬籠観光ボランティアに行ってきました！

今回は、3 年生 51 名が参加をしてくれました。大学等で今後研究していきたい内容も視野に入れながら、事前研究にも力を入れました。事前研究の内容は以下の通りです。

(1) 外国語研究グループ

- ・会話テキストの作成

(生徒用と商店街用の 2 種類)



(2) 地元の歴史・文学研究グループ

- ・中津川歴史資料館の館長さんの講話
- ・遠山史料館の館長さんの講話
- ・島崎藤村の年譜や詩を書いたチラシの作成



(3) 地域経済の研究グループ

- ・まごめ MAP の作成 (配布用、掲示用)



「受験勉強をしながら、よくこれだけの準備ができたなあ」と思えるクオリティのものばかりでした。

それだけでなく、事前に現地へ行って調査をしたり、前日に中山道を歩いてみた、という生徒もいました。また、「制服でなく浴衣の方が外国人に注目してもらえる」という発案もあり、生徒が主体的に活動してくれたことが大変印象的でした。

そして、いよいよボランティア当日。

比較的観光客が少ないように感じましたが、様々な国の人たちと交流できました。お話しできたのは、中国、アメリカ、イギリス、オーストラリア、オランダ、ベルギー、スペイン、イタリア、アルゼンチン・・・といった国々の方たち。



最初は話す勇気がなかったり、会話が続かなかったり、誤解されたり、とうまくいかないことばかり。

それでも、ALTの先生の英会話レッスンや、馬籠の地元の方々のサポートもあり、少しずつうまくコミュニケーションが取れるようになりました。自分たちで準備した折り鶴を渡したり、浴衣姿で写真を撮ったり。満足げな表情を見せる生徒もたくさん見られました。

Like this...



改めて、英語は世界中の人たちとつながることのできる大切な「ツール」であると実感できました。

日本人観光客の方には、藤村記念館の案内もしました。作成したマップやチラシに喜んでもらったことが大きな自信になったように感じます。

You are here now,
so keep on going...



卒業後は親元を離れて暮らす生徒もたくさんおり、参加してくれた生徒の中には2週間後に留学をする生徒もいます。「ふるさと再発見」が馬籠観光ボランティアの重要なテーマの一つですが、今回のボランティアが、観光客の皆さんや参加した高校生にとって大切な思い出となってくれれば嬉しいです。

<ある生徒の感想>

- ・馬籠ボランティアは今回が2回目で、前回よりももっと外国人の方と話そうと頑張りました。スペイン人や中国人、ベルギー人、イタリア人と英語で話すと、どの人も「日本はステキな所」とおっしゃっていました。そのことがすごく嬉しかったです。前回よりもうまくコミュニケーションがとれました。もっともって英会話力をつけて、ペラペラ話したいです。

Really?

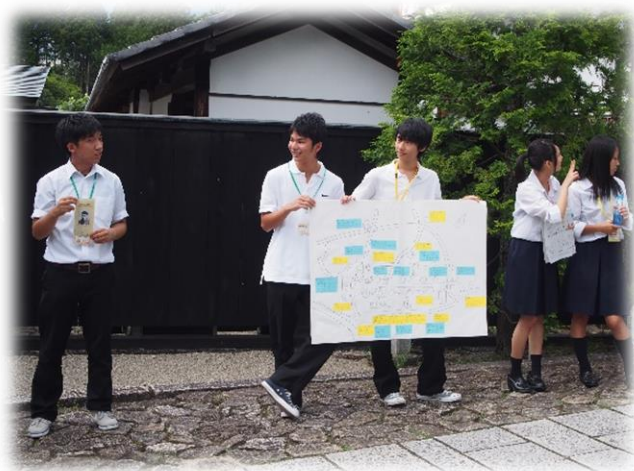
I love Spain !!

Japan is a great country!!



Thank you!!

活動の様子



3粘性にとっては、最後の馬籠でのボランティアになります。それぞれがテーマを持って取り組んでくれました。また、いつも温かく迎えてくださる馬籠の皆さんにも本当に感謝しています。